

八日市高等学校 PTA会報



じ きょう や まず じ しゅ きょう どう
自彊不息 自主協同

発行／八日市高等学校PTA
東近江市八日市上之町1番25号 ☎0748(22)1515
印刷／株式会社デジ・プリント滋賀

PTA研修旅行を終えて

PTA研修部長 種村 善之

去る10月12日(木)、令和5年度PTA会
員研修(研修部主催)として、同志社大学今
出川キャンパスへ保護者61名、先生方4名の
総勢65名で訪問しました。

最初に良心館の講義室で、大学の職員の方
から同志社大学の創立者である新島襄氏の建
学精神や、学部学科、多彩な海外留学制度や
奨学金制度の紹介、主な就職先の説明等をし
ていただきました。今出川キャンパスでは、
学ぶ学生の6割が通学生で、残りの4割が下
宿生とのことで、そのための生活支援も充実
しており、親も安心できる環境であると感じ
ました。

その後、6班に分れて、それぞれに学生が
1名付き、キャンパス内を案内していただき
ました。今出川キャンパスは敷地内に5つの
重要文化財のほか、登録有形文化財も多く存
在し、行き交う学生の雰囲気や校風を肌で感
じることができました。私の班を案内してい
ただいたのは、今年の4月に入学した1年生
の女子学生でした。案内の最後に、「実際に
入学してどうですか。」と質問したところ、「本
学で学んでいる生徒は、皆が誇りを持ってい
ます。」と笑顔で答えてくれました。受験を
目前にしている生徒は、志望校へ向けて一生
懸命に努力しています。ぜひ、希望が叶い誇
りに思える進学先へすすめるよう、夢を実現
してほしいと思います。

その後、嵐山で昼食を済ませて、各自散策
をしました。紅葉の季節には少し早かったの
ですが、観光客も多く、コロナ禍前の賑わい
へ戻りつつあると感じました。

今回の大学訪問で感じたことを各家庭へ持
ち帰り、進路選択の一つとして共有してい
ただければ幸いです。平日にも関わらずご参加
いただきました保護者の皆様、本当に有難う
ございました。



同志社大学今出川キャンパス訪問に参加して ～参加者の感想(アンケートから)～

61名の参加者のうち、59名から回答を得ま
した。肯定的な意見(たいへんよかった・よ
かった)は、同志社大学による大学紹介が
88・1%、キャンパスツアーが93・2%、昼食
が28・8%、行程全般が83・1%でした。記述
のあったご意見は以下の通りです。
(一部抜粋)

- じっくりと大学の状況や内容について確認
したりすることがこれまでになかったの
で、現地での説明や近況などを知ることが
でき、よい機会となりました。また、先生
からも受験先の状況やその他の大学の話も
伺うことができ、参考となる情報をいただ
けたので、今後に活かしたいと思いました。
● 実際に大学に行くことで、学校の良さが分
かりました。オープンキャンパスにはでき
るだけ行って、それぞれの大学の雰囲気
を感じて志望する大学を決めてほしいです。
● 今日はありがとうございました。
● 子どもたちにも、どんなこのような機会
があればよいと思いました。また、先輩の
方に大学の様子を聞く機会があればうれし
いです。他の大学にも行きたいです。

● 普段話のできない保護者さんとお話がで きてよかったです。大学の見学もしたこと がなかったので、いい経験ができました。 ありがとうございます。

- **【二方、改善点や来年度以降の要望として】**
● いつも文系なので、理系の話が聞きたい。
● 立命館(茨木)に行ってみたいです。
● キャンパスツアーは、建物だけでなく、も
う少し、室内に入れる箇所が欲しかった。
● バイキングが大変混み合い、食べる時間が
なかった。お弁当でもよかったです。(同様の
意見多数)

等がありました。研修部では、これらの意
見を参考にしながら、次年度の計画を立てて
いきたいと思います。

卒業生と語る会

学年部長 小嶋 一浩

令和5年11月18日(土) 13時より八日市ロイヤルホテルにて、令和3年度の卒業生6名を招いて「卒業生と語る会」を開催致しました。

前半はパネルディスカッション。コーディネーターによる進行の下、事前アンケートで集めた質問に答えもらう形で、高校時代の思い出や勉強との向き合い方、保護者への思いや今の高校生に伝えたい事など、受験を経験した卒業生それぞれのリアルな体験談を語ってくれました。後半はテーブルディスカッション。キーキとコーヒーをいただきましたから小人数で雑談する形で、ぐつと近い距離感でより詳しいお話を聞けた事に加えて、保護者同士、先生方とも楽しく情報交換が生まれました。

その中でも印象に残った話は、八日市高校生にとって棠楓祭は部活動に並ぶとても大切な思い出だということでした。また保護者へのアドバイス



として、「子どもたちはみんな、送迎や資金面・事務手続きなど、親に対して心の中ではとても感謝している。口には出していないでも勉強は頑張ろうと思っているので、信じて見守って欲しい。」「進路についての話し合いは大切。」「話してくれました。サポートは全力で！余計な事は言わない！と強く心に誓いました。この日のために集まってくれた卒業生の皆さん、ご参加いただいたPTA会員様、夜の準備会議や寒い中の駐車場係や受付・司会・テールリーダーなどを引き受けていただいた学年部の皆さん、そしてほとんどの段取りをしていただいた担当の西村先生、本当にありがとうございました。

卒業生と語る会 ～参加者の感想～ (アンケートから)

● 我が子とはおそらく話さない内容の会話や質問にも快く答えていただきました。卒業生の方たちの人柄のよさが溢れていて、こうした機会があるのは良いな、と感じました。
● 保護者の数が思っていたより少なく驚いています。パネリストさんはもちろん、先生方ともいろいろなお話ができるよい機会でしたので、みなさん参加されると良いのに…と勿体なく感じました。

近畿地区高等学校PTA連合会大会に参加して

PTA会長 山本 直彦

7月1日に第48回近畿地区高等学校PTA連合会大会が開催されました。今年度は、滋賀大会として、草津市のYMITアリーナで開催され、本会の会員も多数ご参加をいただきました。

大会は、ウェルカムパフォーマンスとして守山高校吹奏楽部の素晴らしい演奏から始まり、記念講演ではドイツ在住のジャーナリスト、高松平蔵氏から「ドイツからの眼差し、未来志向でPTAを考える」をテーマにお話をいただきました。高松氏からは、ドイツと日本の学校制度や歴史的背景、ステークホルダーなどの比較から、今後日本で更に多様化する価値観のなか学校教育がどうあるべきか、保護者は学校とどのような関係を築いていくべきか模索が必要な時代に突入していると指摘がありました。これからのPTAの在り方についても、その変化にどう対応していけばよいかという議論が求められていることを強く感じました。

また、講演後には、ステージ上で伊吹高校書道部の皆さんの力強く独創的な書道パフォーマンスがあり、会場が感動の渦に飲み込まれました。

全体を通し、大会テーマ『みんなで考えよう！「PTAのこれから」』にふさわしい有意義な大会となりました。ご参加いただいた会員のみならず、ありがとうございました。



修学旅行を終えて

2年3組 中村 朝也

私は修学旅行に行き、様々な体験学習を通して、北海道の自然環境や歴史、文化を知ることができました。授業や教科書から学ぶよりも深い学びができたと思います。北海道まで飛行機で行き、北海道でしか見られない景色を満喫するといった非日常的な体験は、これからも思い出として心に残ると思います。その思い出を今後の糧にして、勉強や部活動に励んでいこうと思います。また、4日間友人と共に過ごすことにより、仲間としての絆が深まりました。その絆で、来年度の棠楓祭をより良いものに使いたいと思います。

北海道の魅力

2年4組 北村 捺萌

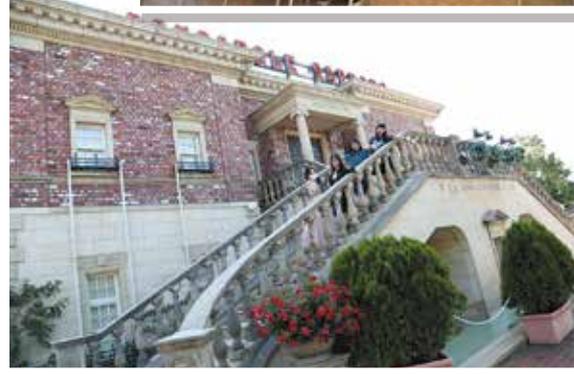
北海道への修学旅行を通して、私が一番感じることは、北海道の自然の豊かさです。飛行機から見えた景色は緑が多く、とても綺麗でした。また、バスで目的地まで移動している合間にみえる動物たちは、広い場所でのびのびと生活しているように見えました。アクティビティとしてラフティングを選択したことで、より身近に北海道の自然を感じることができました。滋賀県ではなかなか体験できないことや、感じることもできませんでした。くり堪能することができました。みんなとの良い思い出ばかりが残る最高の時間を過ごすことができて、とても幸せな3泊4日の旅でした。



文化を学び大自然を満喫!!

修学旅行 in 北海道

9月5日(火)
~8日(金)





体育祭
6月30日(金)



感謝と期待

前生徒会長 河村 航希

今年度の棠楓祭は昨年を引き続き、コロナ感染対策を行いつつ、工夫を凝らした開催となりました。感染対策のために制限もありましたが、団長や生徒会執行部の皆、そして先生方のご協力のもと、全校生徒の皆さんに棠楓祭をより楽しんでもらえるような、新たな取り組みを行うことができました。昨年度まで本校の体育館で行っていた劇については、空調設備の整った空間で楽しんでもらえるように、今年度は八日市文化芸術会館で実施しました。また、3年生の保護者の方々には、直接本校に足を運んで模擬店を見学していただくなど棠楓祭に参加していただくことができました。

棠楓祭の当日まで楽しんでもらえるか不安でしたが、後日、楽しかったという声を聞いて、とても安心しました。これも棠楓祭に携わった方々の協力と皆が一丸となって執り行った努力の成果だと思えます。本当にありがとうございます。

後輩の皆さん、棠楓祭を含め、八日市高校の行事には人として成長できる機会があります。ぜひ今後とも積極的に取り組んで下さい。



文化祭

7月5日(水)・
6日(木)

棠楓祭に恋してる



生徒会執行部に求められるのは常に挑戦することだと思えます。私たちの活動には勝敗も優劣もありません。挑戦の積み重ねが、みんなの思い出として結果になると考えています。今年度は文芸会館で演劇を行うなどの新しい試みを行いました。次年度も全校生徒の意見を積極的に取り入れ、各々の学校生活がより充実したものになるような活動をしていきます。本校の歴史と伝統を重んじつつ好奇心を原動力にし、固定観念にとらわれない新たな想像を大切にして、生徒会行事を計画していきます。新生徒会に対しても引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

新生徒会長 宇野 和紗

挑戦の積み重ね

部活動紹介

(文化部)

Try your best!

①部長名 ②活動紹介

写真部

①2年4組 渡邊 花澄
②写真部は2年14名、1年14名で活動しています。部活動では各個人の写真を講評し合い、互いに意識を高めています。8年連続の全国大会出場に結びついています。



文芸部

①2年1組 小財 千佳
②私たち文芸部は2年生3人、1年生4人の計7人で活動しています。私たちは年に5回の部誌の発行を目標に、小説、イラスト、俳句の創作活動を頑張っています。



音楽部

①2年7組 藤田 紗輝帆
②音楽部は現在、3人と少人数ながらも日々頑張っ活動しています。メリハリをつけながらも「楽しむ」ことをモットーとしており、初心者大歓迎な部活です。



茶道部

①2年6組 岡 心咲
②部員14人で茶道の作法を学びながら活動しています。本格的な茶道を楽しめる貴重な経験になっています。



自然科学部

①2年2組 中道 結
②自然科学部では生き物の飼育、観察、生物や化学の実験を行っています。まったり、ほのぼのと科学を楽しむことを目標に日々活動しています。



新聞部

①1年4組 野口 裕人
②新聞部は行事ごとに新聞を発行しています。また、民間の新聞社への記事提供もしていますが、現在部員が少ないのが悩みです。



美術部

①2年5組 小島 陽夏里
②私たちの主な活動内容は、棠楓祭や高文祭に向けての作品制作や、イルミネーション制作です。大きな活動がないときは、それぞれ好きな作品をつくり、日々高め合っています。



華道部

①2年2組 永松 千佳子
②華道部の活動内容として、華道専門の先生をお招きし、季節の花を使ってお稽古を受けさせていただいています。アットホームな雰囲気楽しく活動をしています。



書道部

①2年4組 廣瀬 陽菜
②今年度は何度もパフォーマンスをさせていただく機会があり、多くの方々へ私たちの活動を知っていただけたと思います。高文祭では、賞を頂けるように頑張ります。



吹奏楽部

①2年6組 北村 羽乃
②八日市高校吹奏楽部、略してYBCです。現在、49人で毎日楽しく活動しています。2024年3月23日・24日に定期演奏会を予定していますので、ぜひお越しください。



外国語部

①2年4組 小高 唯
②日常英会話の練習、コンテストの練習、ALTとの交流が主な活動です。先輩後輩の関係なく、仲良く楽しく活動しながら、実用的な英語力が身につくのが魅力です。



祝 全国大会出場 おめでとう

昨年度(2022年度)の秋の総文祭での成績が優秀だったので、写真部、文芸部、音楽部が今年の8月に開催された全国大会(鹿児島総文祭)に出場されました。2年3組の番野玲さんが、滋賀県の代表生徒としての大役を務められました。

編集後記

コロナが第5類になり、学校行事やPTA行事を例年に近い形で実施することができました。棠楓祭や修学旅行を楽しむ子どもたちの写真を見ていると、編集する側も自然と笑顔になりました。また、同志社大学訪問には、昨年を上回る人数の保護者の方々にご参加いただき、改めて実施できたことを嬉しく思います。ご寄稿、ご感想をいただいた皆様に感謝申し上げます。

